

科目名	成人看護Ⅲ (血液造血・呼吸・循環機能障害の看護)				DP1、DP2 DP3、DP4	看護高等課程	
学年	1年	分野	専門 成人看護	時間数	25時間	担当 教員	外部講師
科目概要	看護職者として必要な血液造血・呼吸・循環機能に障害のある患者の看護について学ぶ。						
到達目標	1. 主な血液・造血器疾患の看護の目的、特徴を知り、治療に伴う看護を理解する。 2. 主な呼吸器の疾患の看護の目的、特徴を知り、治療に伴う看護を理解する。 3. 主な循環器の疾患の看護の目的、特徴を知り、治療に伴う看護を理解する。						
回数	単元項目	授業内容			形態	担当教員	
1～4	血液・造血機能障害の看護	血液・造血器疾患の基礎知識 血液のはたらきと造血のしくみ、おもな症状と病態生理、おもな検査、おもな治療・処置 おもな疾患の看護 白血病（骨髄移植）、骨髄腫、DIC クリーンルーム、共通する看護、おもな症状に対する看護、検査を受ける患者の看護、治療・処置時の介助			講義	外部講師	
5～8	呼吸機能障害の看護	呼吸器疾患の基礎知識 呼吸器のしくみとはたらき、症状とその病態生理、おもな検査、おもな治療・処置、おもな手術 おもな疾患 肺がん手術（胸腔ドレナージの管理）、COPD 共通する看護、症状に対する看護、診察・検査を受ける患者の看護、治療・処置時の介助			講義	外部講師	
9～12	循環機能障害と看護	循環器疾患の基礎知識 循環器のしくみとはたらき、症状とその病態生理、診察とおもな検査、おもな治療・処置 おもな疾患 虚血性心疾患（狭心症・心筋梗塞：ECGの見方）、心不全、洞不全症候群（ECGの見方、ペースメーカー管理） 共通する看護、症状に対する看護、診察・検査を受ける患者の看護、治療・処置時の介助、心臓リハビリテーション			講義	外部講師	
13	試験（1時間）				試験		
評価基準	100点満点とし、6割以上を合格とする。また、授業時間数の3分の2以上の出席が必要となる。						
評価方法	出席状況及び講義・演習への参加態度、課題レポート、筆記試験などで総合的に評価する。						
教科書	新看護学 9 成人看護 [1] 成人看護総論 呼吸器 循環器 消化器 医学書院 新看護学 10 成人看護 [2] 血液・造血器 内分泌・代謝 脳・神経 運動器 [特論]リハビリテーション看護 医学書院 必要時、資料等は配布する。						
履修上の 注意点							